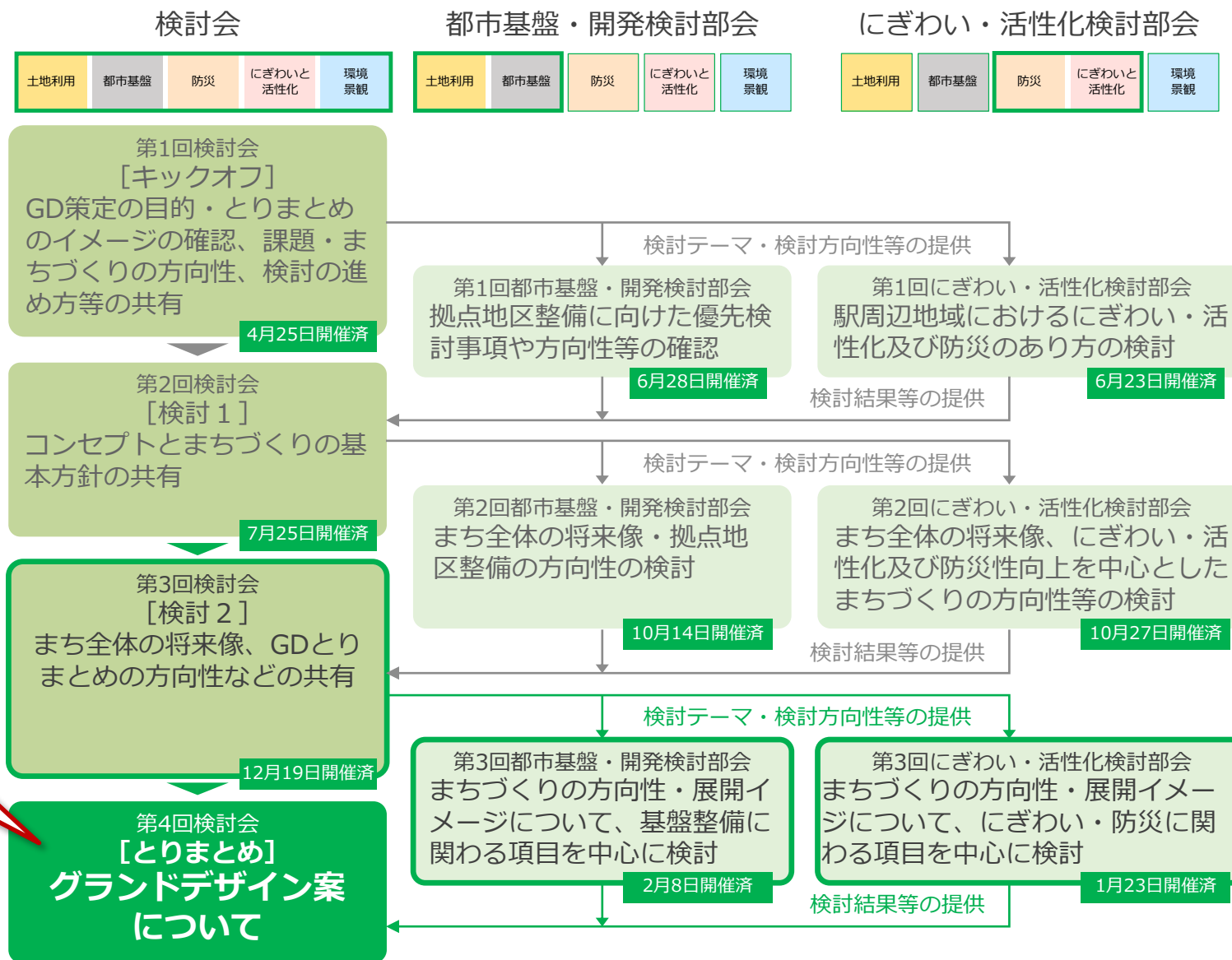


第4回 王子駅周辺まちづくりグランドデザイン策定検討会

平成29年3月27日



本日の検討テーマ



第3回検討会、検討部会での検討内容、いただいたご意見などを踏まえたGDとりまとめ内容の検討

交流・連携について

- ・ 赤羽・池袋・日暮里など周辺の拠点との関係については、他地区に何があるかなどを整理しつつ、王子ではどういった面で魅力を付加していけるかなど、役割分担および連携のイメージを具体的に示すべきではないか。
- ・ 交流という言葉も、ターゲットや空間への落とし込みなどを具体的にイメージした上で提示すべきではないか。

まちづくりコンセプトについて

- ・ これまでの意見などが反映されており、特に異論はなし。

ランドデザインとりまとめの方向性について

- ・ 目次構成、最終成果としての表現のレベルなどについては、特に異論はなし。
- ・ ランドデザインの最終成果をこのレベルとする場合、次年度以降のガイドラインや整備計画での検討の基本的な考え方などは示していただきたい。
- ・ 整備計画に向けて、事業の優先度や手法が紐づいていくことをイメージしながら、とりまとめの作業を進めていただきたい。

先行検討区域について

- ・ 定義を明確にし、検討の優先順位などを見極めながら範囲設定をする必要がある。



これら指摘事項を中心に、検討部会で案を提示して検討

他の拠点との差別化・連携の考え方について

- ・無理に連携強化というのではなく、まずは王子ならではのものを強化していく方向性で考えていくとよいのではないかと。
- ・日本の産業の礎となったレガシーをどう生かすかを考えることが、グランドデザイン（GD）にとって最も重要である。

コンセプトについて

- ・コンセプトにある4つのまちについて、新しい働き方ができるまちの視点が狭い。むしろ豊かなライフスタイルが実現できるまちという方が、感覚的に納得できるものになるのではないかと。
- ・みんなで守り・創るまちは、行政主導ではなく、区民や地元、事業者が主体と読み取れるようにすべきではないかと。

展開イメージ図の記載内容について

- ・駅前広場と言っている部分について、示している範囲が広すぎるのではないかと。
- ・平面図の表現は工夫いただきたい。
- ・駅そのものの改修のことは、明言しておいたほうがよいのではないかと。
- ・醸造試験所跡地公園も重要な資源であり、位置づけていただきたい。
- ・公的資産の活用など、民間の活動を誘発させる仕掛けが重要である。
- ・民間事業や起業は、支援ではなく誘発するという言葉を使うべきではないかと。
- ・旧醸造試験所第一工場は、国の重要文化財（建造物）に指定されており、重要な資源として位置づけていただきたい。

次年度以降の検討方向性について

- ・先行実施地区を示している図が、事業の優先度を示しているように見える。誤解を招かぬよう、表現を工夫すべき。

他の拠点との差別化・連携の考え方について

- ・ 図の中で各路線などを際立たせ、王子でJR、メトロ、都電バスの乗換えができることを強調するとよい。
- ・ 王子駅での乗換え利便性の向上が、本当に東京の北部エリアの活性化につながるかどうか、同心円の描き方も含めて表現を工夫できるとよい。

コンセプトについて

- ・ 王子にとって歴史は重要であるため、水と緑とあわせて強調するとよいのではないかと。

まちづくりの方向性について

- ・ 景観・観光の軸はこの位置でよいのか。
- ・ 順番は、交通、にぎわい、歴史文化自然とし、最後に、その基本として安全安心があるという示し方が良い。

展開イメージ図の記載内容について

- ・ 都市機能集積の誘導によるにぎわいの創出に記載の項目が盛りだくさんなので、切り分けて表現してはどうか。
- ・ 多様な都市機能の集積誘導、にぎわい創出のために高度利用推進、との言い方が良いのではないかと。
- ・ 歴史的資産については、旧醸造試験所など具体的な記述や写真などを入れるとよりわかりやすくなる。
- ・ 歩行者ネットワークについては、歩行者が自然や歴史資源を巡りながら歩けるようにすることも位置づけておくと良い。



これら指摘事項を踏まえ、グランドデザイン案を作成